

設立 平成24年 5月15日
開塾 平成24年 9月 8日
発行 平成26年12月20日
(26号)



[事務局] 〒648-0094
橋本市三石台4-1-15
TEL 0736-38-3669
FAX 0736-38-3680
文責 事務長 宮本眞弓

人間学講座
第28講

「生きる原点を求めて」

森 敬恵 先生



■ 子守唄を知らない子どもたち

少しでも世の中を良くしていかねば・・・いまの私の活動のきっかけとなったのは、神戸で起きた少年による猟奇殺人事件でした。あの事件から、ああ、子どもたちは今とても危ない状況にあるのだ、ということに気づき、そして、どうしてこうなったのかということを私なりに紐解いていきました。

皆さんご存知の、昔懐かしい「江戸子守唄」いま高校生2千人に聞くと知っているのは十人ほどです。子守唄を唄ってもらっていないのです。それは、赤ちゃんのときに、お母さんが抱っこしたり話しかけたり歌ったり、というコミュニケーションの時間が非常に短い、ということなんです。幼児期の子どもたちのあり方をみたときに、日本の行く末は危うい、ということに気づきます。

本来損得勘定抜きで全部赤ちゃんに尽くしてやる、という精神、それが母親の原点。自分を犠牲にしても、赤ちゃんのためにみんな捧げたい、そういうお母さんの気持ちで赤ちゃんを人間にするのです。ところが、子育てのお母さんは戦後3世代目くらいになつたいま、若いお母さんはゼロ歳から子どもを預けて、どんどん働きに出ます。保育所が足らないほどです。

いまの日本の赤ちゃんの事態は深刻です。いま、テレビに預けられている赤ちゃんが非常に多い。赤ちゃんは声かけをされることにより、自分は生きていい存在なんだと確認するのです。声かけとは、赤ちゃんの生命スイッチを入れることです。それなのに、声がかからないとそのスイッ

チが入らない。そうになると、いくらミルクを与えられても、飲む気力が湧いてこない。

人間は幼少期に人間の言葉を聴かなければ、生命体そのものに危機が訪れます。

保育士さんがいくらあやしてくれても、本当のお母さんとはどれほどに違うのかわかりますか。お母

さんにとつては、赤ちゃんは自分の命を伝達してくれる、たった一つの命です。そのかけがえない思いを伝えられる場面がとてまもなくなくなってしまった。その結果、人間の生命体が根源的に弱くなつた。そうなる大人になってから生きる力が弱くなる。そうして自ら命を絶つ人が多くなるのです。

■ 音楽の力

日本には、唱歌があります。ある先生が世界中をまわり、子どもの歌を搜したところ、なんとほかの国には、日本のようにたくさん子どもたちの歌はなかったそうです。なぜ、日本には、子どものために大作詩家、大作曲家がたくさん歌を作っているのでしょうか。それは音楽というものが持っている力を、わが民族は知っていたのです。

音楽の力は、生命の根源を揺り動かす力を持っています。生命の根源というのは、脳の深い海馬というところにあります。ここまで届くのが音楽の波動です。その波動が届いたとき、人間の生命力は喜びます。赤ちゃんに、病人に、自閉症の子に聞かせるということは意味あること。ある学校で唱歌を歌わせていたのだとあり、生まれてこのかた、口をきかない自閉症の小4の女の子がいま



した。なんとその子が「楽しかった。またききたい」と文字に書いたので、先生方もびっくりされていました。それほどまで、音楽は生命体を揺り動かし、調えるのです。

■ 立派な子どもを育てる

お母さんが、赤ちゃんを抱っこしておっぱいをあげているとき、赤ちゃんは必ずお母さんを見ています。目の神経は大切です。ところが、今のお母さんはおっぱいあげながらスマホを触っています。あるいはおっぱいを隠すために赤ちゃんを覆うように布をかぶせたりしている。赤ちゃんはお母さんと目を合わせるにより視神経を調節し、触覚・聴覚・嗅覚などさまざまな神経が脳に繋がっていくのです。だからお母さんは赤ちゃんを目を合わせなければいけない。

三歳から十二歳までの子育ては大切です。イチロー選手や石川遼選手など素晴らしいアスリートがありますが、子どもを立派に育てるにはいくつかの共通点があります。まずは夫婦仲がいいこと。褒め上手であること。叱るときにルールがあり、感情的に叱らないこと。また毎日なにかを続けること。それはできれば両親が好きでやっていることとであればなお良い。そして目標をあまり高すぎずに持ち、取り組むことなどです。

知育(頭)・徳育(心)・体育(身体)は三つの三本柱、いまの子育てはそのどれもに障る状況なのです。そんな大切なことをだれも言わない。なぜか？実は優秀な日本人を弱くしようとする外圧があるからです。それを見抜くのは日本人の高い知性です。

日本の再生をもたらすものは、一人ひとりの高い意識です。私たちは、できることを死ぬまでやりつくし、日本を守っていくこと、そして子育てを大切にして、立派な子どもを育ててゆきましよう。

(抄録 中川千都子)



《グループ討議会》

森 敬恵先生の講義を拝聴したあと、講話の内容について、
塾生各々が各グループに分かれ討議、感動語録を発表しました。

【Aグループ】

- ① 子守唄を知らない
- ② 目を合わせての授乳（親子のスキンシップ）
- ③ 日本の伝統的子育て方に立ち返る。

【Bグループ】

- ① よき子育て
- ② 日本再生↓情報に振り回されない
- ③ 戦後GHQによる施策で、日本を骨抜き

【Cグループ】

- ① 母親の役割の大切さ（家庭の太陽）
- ② 音楽は生命の根源を整え、揺り動かす
- ③ 外圧による情報操作に惑わされない。
- ④ 外交 ↓



【Dグループ】

- ① 歌には力がある（勇気づける）
- ② 子どもに対しては、幼児期のふれあいが大切
- ③ ひとり一人が国を守るという意識が大切



日本という国のことをひとり一人がささやいていく

人間学講座
第29講

「強運をつかむ10の決断」

水谷謹人氏



■ 全ては良いご縁の力

宮崎中央新聞は、「感動を与える新聞、読んだためになる新聞」といった啓発を目的とする新聞です。

24年前の当初は宮崎市内を一軒一軒、飛び込み営業をする毎日から始まりました。100軒営業へいくと3人が見本誌の購読をしてくれる様になり、そのうちの一人が有料購読者となりました。3年目になると「友達を紹介してあげますよ」という購読者が現れました。それを機に、友達から友達へ御縁をつなげて頂く形となり、10年目には、47都道府県に購読者のご縁が広がり、20年目になるとWEB版で世界の国々までご縁が広がっていきました。

■ 運気の上げ方

運気があがると、出会う人が皆、協力してくれる様になり、どんなにピンチにあってもチャンスにひっくり返っていきます。「運気のある人の話を聴く。知り合いになる。付き合っていく。真似をする。」ことで運気が上がります。そして、何かを「やる！」と本気で決断したら、運気が一瞬ではね上がります。先に決断すると、あとで環境が整います。

■ 強運をつかむ7つの決断

① 自分は強運の持ち主だと決断する

人生は自分が意識している通りになっていきます。意識すると情報が飛び込んできます。引寄せの法則です。自分は強運の持ち主だと決断することに何の根拠も証明も要りません。「最近どうですか？」と訊かれたら「最高です！」と答えましょう。「今日も若々しくて綺麗だわ」と自分に言い聞かせましょう。

私たちは、16億2453万8026人のご先祖様の命を引き継いでいます。このご先祖様は、飢饉や戦、自然災害を乗り越えて命を繋いだ強運の持ち主です。ここに生きていると言うだけで既に強運の持ち主なのです。

② 今日から自分を大好きになると決断する

自分を大好きになると物事がうまくいき、良い人間関係に恵まれて、ピンチがチャンスになります。大人は、子どもに自尊感情を育てることが大切です。自尊感情が豊かになると個性が発揮されて能力も伸ばせます。すると頑張れる。あきらめない子に育ちます。自分が好きなので他の人を思いやることができます。

③ マイナス言葉を言わないと決断する

自分の発する言葉は、自分の耳がしっかりと聴いています。潜在意識に入り自己暗示がかかります。「最悪・無理・忙しい」はマイナス言葉です。忙しい時は「ちよつと盛り上がっています！」と言い換えましょう。しかし、「苦しい・悲しい・泣きたい・頭にききました」といった感情を表す言葉は言いたくない。誰かに聴いてもらうことで気持ちがあらいでいく事もあるからです。

④ お金持ちになることを決断する。

お金は、人を幸せにするものです。そして幸せを与えているレベルでのお金持ちになります。日本中の人を喜ばせた人はそのレベルのお金持ちに、世界的な大ヒットで人を幸せにした人はそのレベルでのお金持ちになります。お金はエネルギーです。

資源と同じ様に使い方、使う人の問題です。上手に使わないと、とんでもない禍になり、上手に使えば人々に幸せをもたらします。またお金は、パートナー、恋人のように扱います。レジで「行つてらっしゃい」と送り出し、ATMでは「おかえりなさい」と声をかけましょう。

⑤ 人を喜ばせることをいつも考える

(子どものテスト答案珍解答集を見て) 先生方がこの中におられましたら、子どもたちの豊かな感性を大切にしてください。

いろいろな視点を持ち、答えはひとつではないことを教えてください。大人になり突拍子もない意見が会議で採用されて大ヒットということにもなりかねません。子どもの解答には〇と×の他に花丸を。

⑥ いい人間関係を決断する

一緒にいて楽しくない人や、人の悪口やマイナス言葉の多い人は運気を下げる人です。このような人と付き合う時間をカットして自分にとって運気の上がる人との時間を増やしましょう。生き方が尊敬できて何でも相談できるメンターは宝です。一緒に映画やコンサートに行く、いい本を紹介してくれるといった、文化的な話ができる人も絶対に側に置いておくべきです。

⑦ 自分の機嫌は自分でとる

自分の不機嫌は自分の責任です。人に当たらないようにしましょう。仕事で辛いことがあったらスキップしながら帰宅、口角を上げて「ただいま」と言いましょう。先に形をつくると後に感情がついてきます。

■ 教科書にない歴史の授業を、

日本人の女の子のためにしたアメリカ人教師の話 戦争にはたくさん原因がある。それなのに原因をひとつに決めてしまうのは歴史に対する暴力だ。歴史を正しく学ぶことは自分の未来に生きる自信を与えてくれるのだ。



《グループ討議会》

水谷謹人氏の講義を拝聴したあと、講話の内容について、塾生各々が各グループに分かれ討議、感動語録を発表しました。

【Aグループ】

- ① 正しい歴史を学ぶこと、伝えること、
- ② 大和言葉の（つく）日本の詩のすばらしさを学ぶ
- ③ プラス言葉を使いマイナス言葉は使わない
- ④ 「やると決める」ことで運気を上げる

【Bグループ】

- ① マイナス言葉を使わない
- ② マイナス言葉と感情を分けてよい
- ③ 本気の決断
- ④ 潜在意識のすり込み

【Cグループ】

- ① 教育は、子どもの未来に生きる勇気を与えられる
- ② 戦争の原因をひとつにするのは、歴史への暴力
- ③ 七つの運気の上げ方
- ④ 先に決断して、後に環境を整える



夕食 Time



正 食 偈（いただく時）
食事をいただく時には、人は食べ物だけで生きるものでなく、信仰の喜びを心のかたとすべきことを思う



食 竟 偈（終わった時）
食事を終った時、正しい食事の作法はそのまま仏法の修行であることを思う

高野山 清浄心院





車座での歓談Time



写経実技



阿字観体験

般若波羅蜜多心經
觀自在菩薩行深般若波羅
蘊自性皆空舍利子色性
不減行想無亦蜜顛蜜波
波羅蜜多是長罪是長明兄是
只不虛
信揭帝
工空即是色受想
明法空相不生不
以空中無色無受
以色聲香味觸法
以明亦無無明盡
以苦集滅道無智
以無上
以佛
以菩
以菩
以菩

大石順教尼の記念館「旧萱野家」訪問（和歌山県伊都郡九度山町）



午
から
未
へ



■ 学塾・中之島では、中途入塾も大歓迎いたしております。友人・知人の方をご紹介ください。お待ちいたしております。（事務局）

《新規入塾のご紹介》

12月より入塾の方を、紹介いたします。
お名前 今井良子さま
ご住所 明石市藤江一〇二四一七〇八
連絡先 〇七八・九二八・二三五八
皆さまのご指導宜しくお願いします。

《読書感想文『文集』発行の案内》

読書感想文には、手を付けて頂いていますか？お正月にゆつくりと、お書きください。森信三先生は即今着手とお教えくださっていますよね！！
※ 詳細は別紙配付資料を確認ください。

・ 原稿締切 27年1月10日
・ 発行予定 27年2月14日

《一月 第三期 人間学塾・中之島》

■ 基本カリキュラム

商売繁盛の備もいっしょ

＊ 1月10日（第二土曜）
＊ 受付 午後0時30分より
＊ 場所 大阪大学中之島センター 10 F
＊ 講師 鍵山秀三郎先生
「本当に大切なものは目には見えない」
＊ 課外講座 午前10時30分～
前月講座DVD放映

◆ 新年の集い開催

カリキュラム終了後午後5時30分より
午後7時まで。ご参加を！！

《淀川掃除に学ぶ会》短信

世話人 志村隆夫

▼ 寒風吹きすさぶ中、12月7日（日）朝8時から9時半迄、参加者総勢35名で、淀川掃除をさせて頂きました。

収穫は、ゴミ袋が38個、折りしも満潮の頃合でしたので、川岸のゴミは拾い難く、又、大型の廃棄物も最近はかなり少なくなってきたので、収穫は思ったよりも少な目でした。

今回、初参加の方は、「奈良掃除に学ぶ会」の松島敏裕代表が、ご出席して頂きました。

次回は、1月4日を予定しておりますが、冬期は、淀川の公園に入る内扉が8時からしか開きませんので8時半集合、9時から開始ということになりました。

この会も、早や11年目を迎え、ご参加いただく方も、地元の方々も含め、徐々に増え、喜ばしい限りです。簡単ではございますが、ご報告まで、ありがとうございます。

志村 拝

奮って御参加ください。

問合せ 〇九〇・一八九四・一七六五（小西）

〇九〇・七五五・一八七七（志村）

